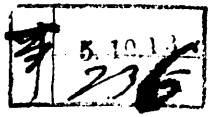
係）ニ集合対策ヲ講ジツヽアリ

六、事業主側

整理対象ヲ外工約八百六十名ニ決定シ後六時半社ニ社多職工一同ノ集合ヲ求メ「今後一定ノ見込立タサレル為メ当分ノ間休列スル事ハ止ムヲ得ス十一月末日迄ニハ又採用スヘキヲ以テ各人ノ家庭事情ヲ深ク見究メ二ノ一五仲村ノ支方ニ頼ル」トノ挨拶ヲ為シタリ

本件ノ事情ニ付武部組（社主側）出向富美支店（社多側）東京印刷工組合等ノ存在ニ依リ推移注意中ナリ

カヽル件（通）報候也



労秘第三五六八號
昭和五年十月九日

警視総監 丸山鶴吉

内務大臣 安達謙蔵殿
社會局長官殿
大阪神奈川各府縣知事殿

やまと新聞社ノ職工解雇問題ニ関スル件（第二報）

標記ノ件ニ付テハ既報ノ處其後ノ状況左記ノ通

記

要旨

(1) 社主八九月二十八日社員二十名ヲ解雇ス
(2) 被解雇者側ハ対策ニ苦ム
(3) 十月八日ヨリ新聞ヲ再刊ス
(4) 次面争議ナル文書面ハ大和会ト武部組ノ争ヒナリ